ニュースフラッシュ

第７回新ひだか夏まつり　7/26~8/15

『第７回新ひだか夏まつり』が７月26日夜、静内市街地で開幕し、８月15日までの期間中、町内各地でさまざまなイベントが開かれ、多くの人々が夏のひとときを満喫しました。

27日の和太鼓フェスティバルや阿波踊りパレードでは、迫力ある演奏や踊りに会場から大きな拍手が送られ、13日の静内川花火大会と15日の三石漁港花火大会では、浴衣姿の家族連れなどが、夏の夜空を彩る美しい花火を楽しみました。

ふるさと応援ＰＲ　8/8

酒井町長ら町関係者は、札幌市大通公園で開かれている「ＴＨＥサッポロビヤガーデン」のふるさと応援ステージに出演し、町の魅力をＰＲしました。

暴力団排除条例制定に伴う合意書調印式　8/9

町と静内警察署は、暴力団排除に向けた連携強化を図る合意書を取り交わしました。

この合意書は、暴力団員の排除を推進する条例を９月１日から施行するにあたり、取り交わされたもので、町が発注する工事の受注者らが暴力団関係者かどうか、町が警察署に照会できることなどが盛り込まれました。酒井町長と武田署長は「町内の治安を守るため連携しましょう」と確認し合いました。

こぶねちゃんお披露目　8/10

町商工会青年部による「星空ビアガーデン」が町公民館横特設会場で開かれ、町民から名前を公募していた同青年部の新マスコットキャラクター『こぶねちゃん』がお披露目されました。

新マスコットキャラクターの『こぶねちゃん』は、今年２月に町のサポート大使に認定された『こんぶマン』の妹。町民から名前を募集し、136人から約350点の応募の中から選ばれました。

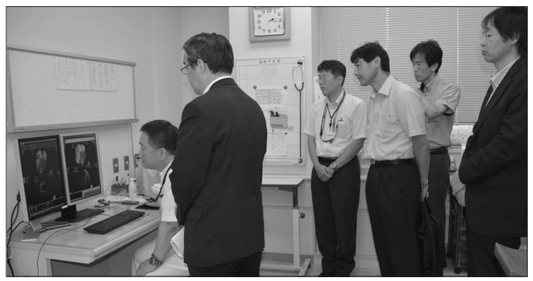
アイヌ民俗芸能伝承講座　8/8

道アイヌ協会による『アイヌ民俗芸能伝承講座』が町公民館で開かれ、約20人が参加し、静内地方に伝わるウポポ（座り歌）などを実演し、アイヌ文化を学びました。

文化講演会・町ふるさと大使認定　8/6

町文化団体協議会三石支部による『文化講演会』が町福祉センターで開かれ、三石歌笛出身で東京芸術大大学院教授の木島隆康さん（62）が文化財修復と古典絵画について講演しました。

講演に先立ち、酒井町長から木島教授に町ふるさと大使認定証が贈られました。町ふるさと大使は、町出身者などが町の素晴らしさを全国に広くＰＲし、観光客の呼び込みに協力してもらう目的で制定。木島さんで４人目となりました。



総務省優良事例視察　8/7

町立静内病院と町立三石国保病院で整備を進めている『バーチャル総合病院構想』が優良な事例であるとして、総務省北海道総合通信局・杉浦誠局長がその事業成果を視察しました。

これは、平成23年度から総務省の地域ＩＣＴ広域連携事業を活用し、整備を進めているもので、これまでにＣＴ画像やカルテ情報の電子化などの整備を進めてきました。今後、町内の医療機関と連携を図り、患者情報の共有化などを目指します。

新ひだか太陽光発電所竣工式　7/29

道内建設関連５社でつくる「ＩＴＫソーラー北海道」が三石鳧舞の町有地に建設を進めていた『新ひだか太陽光発電所』が完成し、現地で竣工式が開かれました。

夏の日のキャンプ　7/29~8/2

町教育委員会によるわんぱくチャレンジスクール『夏の日のキャンプ』が三石海浜公園オートキャンプ場で開かれ、町内の小学生20人が参加しました。

４泊５日の期間中、自分たちで張ったテントで共同生活をしながら、夕食作りや磯遊び、カヌー体験、エビ釣りなどを体験。参加した児童は、さまざまな体験を通して交流を深め、夏の日の楽しい思い出を作りました。

ＪＲヘルシーウォーキング　7/27

『ＪＲヘルシーウォーキングｉｎ新ひだか』がＪＲ静内駅を中心に開かれました。約200人の参加者は、プラタナス並木などのコースを散策し、初夏の新ひだか町を満喫しました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。